

青山同窓會報

ご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



いても回復への足取りの長期化を思わせます。

また今年三月にメキシコにおいて最初に発症が認められたとする「新型コロナウイルス」が瞬く間に世界に感染が広まり、ついに新潟にも感染例が認められたと発表されました。今後の世界的感染拡大についても予測を許しませんが、当初大きく広報されたほどには脅威は厳しくなかつたようで、日本では死にいたるような感染者が出ていないことは幸いです。しかし、わが国で最初に感染者が認められた関西地区では、学校閉鎖を始め、営業中止、操業中止、観光客の急減、予約の取り消しなどで地域経済にとつて大変な打撃を蒙つたようです。空港におけるいわゆる水際作戦も決して完全なものではなく、すり抜けや、

世界経済不況がますます混沌の様相を呈しており、まだ長く我慢の生活を覚悟しなければならぬ状態です。米国を代表する巨大企業でさえ経営危機に陥るといふ厳しさで、一国の金融政策の如何がまさに世界経済に深刻な影響を与えるという経済グローバル化の進行を証明しているといえましよう。日本経済においても特に輸出産業にとつて打撃は深刻で、操業休止、失業の増大を招き、膨大な赤字国債の発行など景気や財政面にお

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18
TEL 025-285-7161
FAX 025-282-1776

熱感知装置でも確認できないことがあるということがハッキリ致しました。日常的に国際的人的往來の活発化が進行していると同時にウイルスの伝播力の大きき、速さに驚きます。今後更に強烈なウイルスに変異して第2次流行の可能性もあるとの事です。まずは自身の普段の健康状態の維持に留意して抵抗力をつけておくことが大切なことなのでしょう

北朝鮮によるミサイルの発射や核実験の報道もありました。拉致問題の進展も無い状況のもとでのこの隣国のなんとも不気味な行動には日本の防衛は大丈夫かと思わざるを得ません。国内では餓死者が出ているなどの厳しい報道のある一方で核実験であり、彼の国における厳しい国内事情に大戦当時のわが国の状況を思い出して国民の苦勞のほどがしのべれます。

二〇一二年には新潟高校は創立一二〇周年を迎えます。学区制がなくなつてますます将来有望な生徒が集まつている母校で

平成 22 年新年会のお知らせ

来年の新年会は平成 22 年
2 月 17 日(水)を予定して
おります。詳細は次号会報
に掲載いたします。



◆ 青山学術文化講演会 ◆

主 催: 青山同窓会

今年も新潟高校卒業生で、各界で活躍の方々から講演をして頂きます。

なかなか聞けない話ばかりと思います。ぜひこの機会に母校見学を兼ねましてお越し下さい。皆様のお越しを心からお待ち申し上げております。

○開催日 平成 21 年 11 月 14 日(土) 午後 1 時 30 分～ 4 時
○会 場 県立新潟高等学校 視聴覚ホール
(駐車場はありません)

○定 員 400 人
(一般市民の方々にも聞いて頂きます)

○参加費 無料
○講演予定者 (講演順)

山内春夫さん (76 回)

新潟大学法医学教授
演題「医療への採点と

プロフェッショナル・オートノミー」

医療には、自分のことは自分で決めるという、医

療のオートノミー(自律)と自浄作用が求められています。みなさんも、自分達のまわりの医療を 100 点満点で採点して、医療評価に参加してみましょう。

鈴木厚人さん (73 回)

高エネルギー加速器研究機構 機構長
演題「素粒子で宇宙を調べる
一極微と極大の世界の関係一」

素粒子は宇宙に存在する物質の最小構成要素です。すなわち、素粒子の研究は、宇宙の根源の研究とも言えます。私たちは、素粒子をとらえて宇宙をどこまで理解しているのかについて紹介します。

○お問い合わせ 青山同窓会事務局

電話・FAX 025-266-5268

E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp

P T A 会長ご挨拶

逸見 和宏 (85回)



とが分かります。そして何よりプロ意識に裏打ちされた強力な教師陣が指導に当たっていることです。

平成二十一年度新潟高等学校PTA会長の大役を仰せつかりました。これまでPTAの役職の経験は皆無に等しく、母校のPTA会長を務めることになることは想像もしていませんでしたが、これも巡り合わせと前向きに捉え精進して参る所存です。昨年は保護者として初めてPTA総会に出席して、参加者の多さに圧倒されました。会場のアリーナには八百人を超える保護者の方々が列席されました。学校側は出席率八十%を目標にしているとのことですが、保護者の意識の高さが表れていると言つてよいでしょう。

教育環境にも目を瞞るものがあります。三十年ぶりに訪れた母校は二つのアリーナと講堂に匹敵する視聴覚ホールを備えた近代的な建物でした。教室も明るく、採光に配慮されているこ

潟県、北信越、そして全国とそれぞれにPTA連合会があります。これら上部組織から発信される情報をフィードバックすることもPTA会長の職務のひとつです。昨年の全国大会は「絆」というテーマで開催されました。親子の対話が少なくなっていると言われる中で、生徒たちの生活の基盤である家庭、家族との絆を改めて考え直す機会を与えて頂きました。

まだまだ勉強すべきことがたくさんありますが、伝統を守り新潟高校らしいPTA活動を行うよう心掛けて参りますので、青山同窓会の会員の皆様にはより一層のご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げます。

待がもてること等を紹介されました。その後、105回の田中健一さんのご発声で乾杯をしました。乾杯用のワインには、小生(94回 本多孝)が醸したフェルミエのワインをご利用いただきました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

お忙しい中、駆けつけてくれた66回の吉田衆議院議員は、自らが部会長を務める財政金融委員会でも多くの青山同窓生が活躍されていることを紹介され、今後の景気対策に期待がもてる旨もお話されました。

84回の行田充さんの音頭で高らかに「ますらお」を斉唱し、64回の風間士郎副会長が挨拶され閉会しました。

平成二十一年

青山同窓会新年会報告

本多 孝 (94回)

恒例の青山同窓会新年会が、二月二十日(金)ホテルオークラ新潟で開催されました。未曾有の景気後退で不透明感の漂う景況下での開催となりましたが、50回の上村先輩を筆頭に105回の同窓生まで当初申込者だけで約百三十名と、例年通りの大盛況となりました。

恒例の青山同窓会新年会が、二月二十日(金)ホテルオークラ新潟で開催されました。未曾有の景気後退で不透明感の漂う景況下での開催となりましたが、50回の上村先輩を筆頭に105回の同窓生まで当初申込者だけで約百三十名と、例年通りの大盛況となりました。

祐子さんの司会で新年会は終始和やかな雰囲気で行われました。まず、長谷川同窓会会長がご挨拶されました。次に猪又新潟高校副校長が、新校舎移転から十年を迎える母校の近況を報告されました。昨年十二月に日本を代表して生徒十八名が日中友好親善事業の一環で中国を訪れたこと、三年生のセンター試験の結果が良好であり、進学状況に期



東京青山同窓会二〇〇九

新人歓迎会・講演会

現職員 押木 洋 (87回)

平成二十一年六月十九日(金)ANAインターコンチネンタルホテル東京において東京青山同窓会新人歓迎会が開催されました。今年度は、今春卒業した第117回生のうち三十八名が参加しました。また新潟からは富山修一青山同窓会幹事長(75回)よりご出席いただき、学校側からは卒業担任の明田川隆亮、小林稜、加藤幹男、校内幹事の押木が出席し、総勢百十名という盛会となりました。

さて第一部は猪口孝東京青山同窓会会長(70回)のご挨拶で始まりました。新潟県立大学の学長を務められている猪口会長から新潟への熱い激励の言葉が語られた後、同窓会旗が新潟の富山幹事長より猪口会長に贈呈されました。その後富山幹事長が来賓を代表して挨拶されたのについて、新潟市長の篠田



恒例の新人紹介である新人コールの後、新人を代表して畑山雅俊君が感謝の言葉

と決意を述べて第一部が終わり、第二部の懇親会となりました。会が進むとともに次第に打ち解け、新人の諸君も和やかに大先輩の話に耳を傾け、親交を温めました。時の過ぎるのを惜しみつ、昨年度の応援団長

同窓生訪問

高橋 榮明先生 (60回) を訪ねて



現在、高橋先生は新潟医療福祉大学の学長を開学以来十年間務めていらつしやいます。

大学の理念は「優れたQOLサポーターの育成」です。QOLとはQuality Of Life生命の質です。

QOLサポーターの育成とは、すなわち、患者や高齢者の方々の生きていく質を高くするために、保健・医療・福祉のチームワークで支援することで、そして、それにはサッカークのサ

この理念に基づく活動は、前職である新潟大学医学部整形外科科学教室での経験に依るものです。

かつて先生のもとに、乳児虐待が疑われる子供が骨折で治療に訪れたことがあったそうです。しかし、当時、福祉との連携もなく、子供を保護する事が出来ず、結果、家に連れ帰られた子供は更なる虐待で亡くなってしまったということでした。その時、整形外科医として、治療は出来ても命を救う事は出来ない場合もあるのだと痛烈に反省されたそうです。医療と福祉は常に連携していかなばならないとの思いが、現在のQOLサポーター育成、チーム医療、医療福祉連携を教育面から推進するとの活動につながっているのです。

先生が医師になられた昭和三十四年頃は、一日でも寿命を延ばすことが要求されました。

しかし、二十年前位から、心身共に自立した活動的な状態で生活できる期間、いわゆる「健康寿命」を延ばすことが大切だとの考え方に、社会が変わってきました。病気の予防や治療に活躍するのは医師ですが、本県は医師数で全国三十六位、面積を考えると四十四位との医師不足という問題に直面したので

す。

医師不足の原因は色々あるけれど、大きな原因は新潟県の医師の供給不足という結果を生み出す構造問題が解決されていないという事だとお話されます。

要するに、県内の高校生の医学部への進学者数が少ないこと、医学部卒業生県外出身者は郷里に戻ること、県内出身者が新潟を離れてしまうことです。そもそも、新潟県は人口に対しての医学部の定員数が少ないのです。この定員を増やす運動や、現状の定員の中で県内高校出身者の割合を増やす努力がなされています。同時に、新潟は冬には雪が降り暮らしにくい土地、というイメージを変える努力をし、県外の医師に暮らしやすい新潟の印象を持ってもらえるように、アピールすることが大切だと話されます。そして在校生や若い同窓生の方には新潟を愛し、故郷を自慢として語れるようになって欲しい、と期待を込めておつしやっていました。

先生の高校時代は古い木造校舎で、床下に住む野良犬の蚤が二階にまで上がってきて、夏休み学校で勉強する時は蚤に刺されないように、机を並べたその上に机と椅子をおいて勉強していました。高校三年間は図書部に属していたものの、本の整

理ばかりで読書は殆んど出来ず、その反動で新潟大学入学後の二年間はむさぼるように本を読まれたそうです。そして、外国への憧れから卒業後一年間米軍基地の空軍病院でのインターンを経て、五年間アメリカの病院で臨床訓練を受けられました。

アメリカでの大半を過ごした病院は、デトロイトのヘンリーフォード病院です。一九六〇年頃ですから、まさにアメリカの自動車産業の黄金時代で、日本車は一台も走っていないかったそうです。ここ数カ月のアメリカ自動車業界の話はとても信じられない気持ちでいっぱいだと語っていらつしやいました。

先生のお話は医療福祉分野に不案内な私にも解りやすく、とても勉強になり、全てをご紹介出来ない事が残念ですが、最後に在校生へのメッセージをお願いします。

在校生に伝えたいことは、「若いうちに県外または国外に、一度は住んで外の世界を見てもらいたい。表面的な事だけでなく、分析力をつけて、お互いの価値観の違いを認め合って欲しい。そして、自分の国を語れる力が極めて重要になるので、日本の近現代史をよく知って、事実を英語で語れるようになって欲しい

い。」とのことでした。近現代史を知る上で参考になる本を三冊紹介して頂きました。是非機会を設けて読んで欲しいです。

※「日本の二〇〇年」

アンドルー・ゴードン
みず書房

「強国論」

D・S・ランデス

三笠書房

「日本と中国における『西洋』の発見」

銭 国紅
山川出版社

会報編集委員

石井 智 裕 (79回)
坂井 奈津子 (96回)



教育実習に参加して

教える立場の難しさ

宗村 歩未 (114回)

新潟高校での教育実習も残すところあとわずかとなりました。この関わりを通して、教師としての望ましい人間性や、教育のこえてきます。生徒であった四年前とは全く違う立場でここにいるのだと改めて実感しています。

生徒を見る目の大切さ

渡邊 貴司 (114回)

今はちょうど十回目の授業を終えたところです。実際に授業をする立場になつてみるとなかなか自分の思うようにはいかず、授業づくりの難しさを痛感する毎日です。

私は家庭科を担当しているのですが、特に実験を取り入れた授業は説明や生徒への対応がうまくできず、授業後に多くの指導をしていただきました。説明の方法や教材提示のタイミングなど、細かな部分にまで配慮が必要であると言われ、何度か授業を繰り返す中で少しずつスムーズに行うことができるようになりました。

また、教育実習は自分自身を深く見つめ直すきっかけになつ

プロとしての授業づくりについて、より実感を持つて考えるようになりまし。そして新潟高校で得たたくさんものを大切にし、教師を志す者としてさらに自分を磨いていきたいと思ひます。

実習期間も残り少なくなつてしまいましたが、青陵祭を含め、残りの日々が充実したものになるよう取り組んでいきたいです。

卒業してから四年もの月日が流れ、今春三週間の教育実習というカタチで再び母校に戻つてこれたことを嬉しく思うと同時に、今度は私自身が授業を行う立場であるということに緊張を感じながらこの実習を行いました。

私自身は保健体育の教員免許

状態取得するためにこの教育実習に申し込んだわけですが、授業を行う立場になつてはじめて多くのことに気づくことができました。それに思ひます。それは、私は教えようと自分自身に言い聞かせ、そして指導案通りにしなければと一生懸命になつてしまいがちでしたが、授業は私たち実習生のためにあるのではなく

生徒のためにあるということに気づいたことです。自分自身に目が向いてしまつたり、うまく授業を進めようと指導案だけに目が向いてしまつたりと授業の主体である肝心の生徒たちに目が向かず、ひとりよがりな授業になつてしまひ、反省することがありまし。

また生徒たちは本当によく私を、教師を見ているのだということも、実習で実際に授業を行うまでは気づかなかつたこととす。生徒たちは自分たちに目が向いていないことには敏感に気づき、そのようなときには授業に対して気持ちが向きにくくなつてしまひます。しかし逆にしっかりと私の目が生徒たちに

同窓会サミットに参加して

幹事長 富山 修一 (75回)

向いていると感じられるときは、新潟高校生らしい集中力で積極的に取り組み、自ら動き出してくれます。教師の目線ひとつで生徒たちの気持ちや取り組みまで大きく変わるのだ、と実感する場面が多くありまし。

今日、本当に多くの先生方から厳しくも暖かい指導を受け、つたない授業を生徒たちに支えられて実習の最終日を迎えられることを幸せに思ひます。先生方、生徒たちからは本当に多くのこ

二月十四日、長岡グランドホテルで行われまし「第二回新潟県内高等学校同窓会長有志懇談会」に長谷川会長、石田・敦井副会長と参加して参りました。

会合の趣旨は他の同窓会と情報交換をして、それぞれの会の活性化をいかに図るかを考えることとありまし。

今回の参加同窓会は創立百年を経過した学校に限るということとでし、北は新発田、南は高田北城高校までの十九校四十四名の出席で、村上や高田高校という名門校の出席はか

いませんでした。各同窓会はそれぞれ特徴のあ

風間士郎氏 受章を祝う会の報告

伴 昭彦 (56回)

風間士郎氏 (64回) が昨秋旭日小綬章を受章されまし。

その祝賀会を平成二十年十二月二十一日ホテルオークラ新潟で盛大に開催いたしました。風間氏の中広い交友を反映して全国から法曹関係者、ロータリーク

第一級の資料を展示する三階建の「長岡高校記念資料館」を高校隣接地に建てるなど、活発な活動をされておられまし。

三条高校同窓会では新校舎建設に合せて、地場企業のコロナさんにお願ひして全ての教室の冷暖房を寄附してもらつたといううらやましい報告がありまし、ある同窓会では会費が集まらず年間予算が百万円しか出せなかつたが、皆さんの話を聞いてこれからは会報を発行して同窓生の関心を集める事としてい等、自分たちの活動だけでは分からなかつたヒントをいくつ

報告会終了後、懇親会が催され、当会敦井副会長の発声のもと乾杯、懇談がにぎやかに行われ、これからも不定期ではあります但継続していく事を確認して閉会いたしました。



これまで私を支えてくれた皆様のお陰です。」と感謝の言葉があり、「今後も社会のため尽力してゆきたい。」と抱負を述べられました。

新潟南ロータリークラブ会長 角南邦彦氏から風間氏に、パストガバナー渡辺敏彦氏から奥様に花束贈呈がなされ、また、風間氏から、受賞記念として、新潟家庭裁判所少年友の会、新潟県弁護士会野球部、新潟南ロータリークラブ野球部に各金一封が贈呈されました。

祝宴の乾杯の音頭は、風間氏と新潟高校同期の京都大学名誉教授佐藤幸治氏がとられ、同氏からはこれからの世界における日本のあり方、特に司法の改革、充実について出席者に感銘を与えるご挨拶を頂きました。

宴会の終りには、風間先生の

日本海への愛と新潟の未来 第 18 代ポートクイーン新潟

帆苺 千春(108回)



私は関屋浜が大好きです。きっかけは、新潟高校への入学でした。青陵祭の練習で関屋浜と出会い、その美しさに一目惚れしました。

今でも忘れない景色があります。海浜公園にあるお城の滑り台の頂上に立った時です。日本海には佐渡に沈む真っ赤な夕陽、そして空を仰ぎ後ろを見ると、松林の上に薄黄金色の満月。他に遮るものも何も無く、それは素晴らしい景色で、私の一生の宝物です。この時、私の日本海への愛は確定的になりました。

今、ロシアのトロイツァ、韓国の束草、そして日本の新潟を拠点とした環日本海航路が確立されようとしています。150 年前日米修好通商条約で開港した五港のうち、当時最も賑わっていたのは新潟だといひます。「みなとまち、新潟」、更に新潟観光親善大使の名称「ポートクイーン新潟」という言葉が形骸化しないため、百五十年前のように新潟が日本で一番栄えている港町として復活するため、新潟の PR に全力を尽くします。

希望もあり、日頃先生がうれしい時、悲しい時に口ずさみ元気をいただいているという新大附属中学校応援歌、新潟高校、法政大学の校歌斉唱をしました。

新潟高校卒業生全員約五十人程が壇上に上がり風間先生を中心に校歌を歌った頃は最高潮に盛り上がりました。

最後に発起人のお一人の BS



N 社長竹石松次氏の挨拶で終了しました。

同 期 会 報 告

54・55 同期最終新年会 並同期物故者追悼慰霊法要 開催報告

幹事 今湊 良敬(55回)



青山の美少年たちも遂に八十才を迎え、物故者が生存者を越えてしまった。

我々は新潟中学校制帽の「赤線」に憧れて入学したのであったが、大東亜戦争開戦とともに入学し、敗戦そして戦後の学制改革の中で卒業し、同期も 54・55 と分断されてしまい、青山同窓会名簿に特筆されたところである。

同期は海軍予科練あり陸軍幼年学校あり、海軍兵学校あり陸軍少年飛行兵ありと純粹培養の軍国少年の「つわもの」たちが復学してきてまことに賑やか、多士済済であった。

然しながら恒例一月五日に開催している新年会の案内状発送数も年々減少し、返信には体調不良の近況報告が増加の一方である。

そこで同期世話人相寄り新年会を平成二十一年一月五日を

もつて最終会とすることとし、最終会にあたり同期物故者追悼慰霊法要を開催することとした。

又、席上平成二十年度に叙勲授章された武藤輝一君、玉木賢一君に出席願って祝意を表することにした。

次第としては平成二十一年一月五日午後五時より西堀通七番町勝念寺(住職今湊良敬)本堂において雲洞庵住職新井勝龍師・茂林寺住職土田達禅師に依つて追悼慰霊法要、記念撮影ののち午後六時より西堀通八番町大直において新年会を開催した。出席者は四十名であった。

今は NHK「天地人」で大忙しの雲洞庵住職新井方丈の乾盃の音頭で始まり、今は亡き友のあの顔、この面影を語り盃を重ねた。宴は尽きることにはなかったが、長年世話人として同期の消息を担当した保倉修君の校歌「玲瓏の天」の発声で名残り惜しみつつ解散した。

席上ヤナセ会長等方々和男君よりお土産のお菓子が提供されたことを申し添えたい。

なお、これも恒例であるが同期有志による「くさり」の会(会場浦原神社金子隆弘宮司)は引きつづき開催されるとのことです。問合せは金子隆弘君までお願いいたします。

夢像會有志「喜壽」の祈禱

落合 夏樹 (60回)

「讀經朗々と禪房に響きわたり、大般若經轉讀の儀、肅然と執行はる。参列の人、ひとりひとり導師の前に進み出で身を屈めて坐し、佛典開閉の清風を浴び、家内安全・無病息災・身體堅固の祈禱を授けられ、佛典にて肩を輕打されて席に戻りたり。」

これは、櫻花満開を告げる去る四月十日、我等六十回生が今年喜壽を迎へたのを機に有志三十五名が集り、長命祈願の會を催した時の情景である。場所

は舊横越町(現江南區小杉町)にある「揚揮山法幢寺」、祈禱



の導師はこの名利の住職にして我らが級友・山崎賢隆和尚である。

以前、この會報にも載つたが、我々が還暦を迎へた年と同じ趣旨の集りがあつた。それに引續いての今回の祈禱の會である。

集ひ來た會での美青年も各人

それなりに年老いたが、祈禱を受けた直後のせめか、皆爽快な面持で次なるクラス會の會場、月岡温泉は「冠月」に向かつた。

早速、湯に入つて鋭氣を養ひ酒宴に臨む。ひと度、宴が始まれば例によつて例の如く、和氣藹々、忌憚のない惡たれ口と酒杯の應酬、そして歡談に時の過ぎるのを忘れた。やがて、應援歌と校歌の齊唱で幕を閉ぢることになるのだが、その音頭は曾て駒澤大學の應援團長であつた山崎賢隆和尚に執らせるのが我等の慣習である。

皆の前に立つた和尚の容姿は、壯麗な法衣を纏ひ我等に讀經と慈愛の祈禱を授けてくれた數時間前とは一轉して、あの汽車通學の猛者の顔に立ち返つて見えた。

其後も、カラオケに行く友、碁に興ずる友、依然として酒と談笑を續ける友等々、歡樂の時は夜半に及ぶ。それを見て私は

先生は卒寿 生徒は古希の 佐渡ヶ島クラス会

二年A組クラス会幹事

高橋 邦比古 (66回)

去る五月二十三日(土)二十四日(日)、一泊二日の佐渡ヶ島史跡探訪のクラス会に行つてきた。

卒寿を迎えられた松浪清先生と古希を迎えた生徒十七名の探訪旅行である。

探訪地は「トキの森公園」(現在繁殖期でゲージの近くまでは行けない)、「長谷寺」(佐渡は「ちようこくじ」と読み牡丹や花の寺として有名、奈良は



佐渡七浦海岸 夫婦岩前

思つた。この分では長命祈願の會合は少し先になつても良いかもしれないと。

「はせでら」と読み牡丹で有名、県内唯一の五重の塔で有名な「妙宣寺」も参拝した。ここは「天地人」の直江兼続が佐渡平定後地所を妙宣寺に与えた書状と兼続の使つた槍の穂先が展示してあつた。

「真野御陵」を参拝後相川のホテルでの懇親會となつた。盛り上がった一次會であつた。

終了後、ロビーで「佐渡おけさ」の踊りを見た。その後踊りの講習會に参加した人たちは修了証書をもらい、恩師松浪先生よりそれぞれ宛名のところに名前を書いてもらい、英語の先生でしたので先生のサインも書き添えてもらった。

二日目も全員元気、「夫婦岩」、「佐渡奉行所」、「相川郷土博物館」、メインの「史跡・佐渡金山」をそれぞれ見学した。

特に、江戸時代の「宗太夫抗」の他、昨年から見学できるようになつた明治からの近代遺産で

ある「道遊抗」も探訪できた。卒寿の先生、古希の生徒とも知識欲・好奇心共に旺盛で、「心が若い」ことは年を取らないことだと実感した次第である。

新潟港に着き来年もクラス会

卒業五十周年同期会

永井 健司 (67回)

開催を申し合わせ解散した。この組のクラス会は「還暦を祝う會」としてスタートし、以後毎年先生をお呼びして続けている會である。

古希まで後二年。大方の同期生は毎日が日曜日。各クラスから幹事を出していただき、楽しい幹事會が動き出したのは二年前である。四月二十五日(土)六時イタリア軒で、中野仁実行委員長の開会の辞で同期會は始まつた。昭和三十四年三月卒業した同期生は三百四十五名、亡く



なつた方は三十四名で約一割所在が分かる同期生は二百八十名で八割強、出席は八十八名。そんな詳しい資料や名簿を得意なパソコンで作り、出席者全員に配布したり、会場正面に大型

石田瑞穂君が先生の書かれた原稿を代読した。小田先生らしい爽やかな御挨拶は万年青年そのものであつた。我々が三年の時高田高校から赴任なさつた数学の宮地正樹

先生は、漱石の坊ちゃんを思わせるバリバリの二十七才であった。今は写真とパソコンを趣味としておいでの事。卒業三十周年に母校に寄付する伝統があり、私の芸展入選作「カトマンズ」なる50号の油絵を数名の同期生と贈呈に行った時には宮地先生が母校の校長で我々を親しく迎えて下さり、「我々も年取ったな」と感じたものだ。

大学卒業後宮地先生と一緒に着任された瀧澤先生の新任の頃の思い出は、我々と同期の女生徒から放課後質問を受け、答に窮して、青山の水準の高さに驚き努力を決意したとの事。「確か下条楊さんと云ったと思ったが・・・、あ、来ていらっしやる・・・」五十年ぶりの再会を元青山の校長先生も楽しんで事である。物語者に対して黙禱が行われ、さあ乾杯である。毎回乾杯の発声は最も遠方からの参加者がする事になっている。今年はシカゴで活躍中の鶴賀政行君が「私は人生を通じて、学校や職場の数多い友人に

支えられて生きて来たが、高校時代の友人が一番深い心の通う大切な宝だと思っている。それに三年の学級担任だった池政策先生の存在が高校卒業後も重く続いた。」と語り、全員での乾杯の叫び声が会場割れんばかりに轟き、宴は始まる。すぐに別室で四人の先生とクラス別の集合写真を撮る。だんだん十七才に戻った全員は一人でも多くの友と語り酒を酌交し、興奮状態で会場は大声でないと隣の友と通じない程の賑やかさが続く。最後は君英夫君が挨拶をして三本締めでお開きになった。とてもこのまゝ帰る事の出来ない女性を含めて五十人近くが古町に準備した二次会場へ繰出し、女性の合唱を始め、飲めや歌えで楽しんだ。翌朝のゴルフは紫雲CCで十六人の参加。嵐との予報で心配したが、青空も覗く天気になり遠来の友も充分楽しんでもらったと思う。次回の同期会を五年後とするとまだ七十三才、恐らく参加者は今回より増えると確信している。

さんばち会(71期) ゴルフコンペの報告

浦安在住 村山 薫 (71回)

平成二十一年六月二日、昭和三十三年卒の有志十四名が集合した。

毎年開催され、昨年はさんばち会卒業四十五周年総会と併せ開かれました。
私は母親の見舞いも兼ねてという大義名分から初参加でしたが、これからは毎年参加しようと思っています。
本町市場でのシヤケのお土産の買い出しや、前夜友人と居酒屋で久しぶりに「十全ス」の漬物を食べたことなど今回大満足でした。
当日は夏に近い天気の中、ハシヤギながらも、思いがけない計報に接したり、歩いてのラウンドでしたが、全員無事ゴルフしました。萩野真太郎さん、山田耕司さんが好成績でした。
我が71期生は同窓会の期別コンペではいつも優秀な成績を納めているとのことですよ！
さて紙面をお借りしてご紹介したいことがあります。ゴルフ

同窓会だれが生徒か先生か

幹事代表 小林 悟 (77回)

平成二十一年六月十三日、折しも青陵祭の当日、イタリア軒に77回生六十五名が集い、卒業後四十年ぶりに、すっかり外見の変わった友と「再会の頭と腹に行く視線」を交わし合いました。

フ好きの私は、これにはいたく感銘を受けました。我が同期の小川さん、菅原さん、山田さん、山本さん、四名が昨年六月「六十三歳六十三ホール」に挑戦し、見事果たしました。
私には思いもつかなかったことで、ヤラレターー!!!
本人達の気力、体力、ゴルフ場(日本海CC)の支援とてもうらやましく、誇らしく思います。
朝四時五十分から午後六時十五分迄随分頑張りました。我々も六十五歳、皆病気になる色々症状を抱えています。昔から一病息災といひます。お互い健康に注意を払い、あまり無理をしないで又、来年元気で再会しましょう。
最後に幹事の山本さん、同窓会でいつもお世話になる中野さん、菅原さんに感謝!!



師を囲んで「ワルかった順に教え子を思い出す」ようで、どんな話は盛り上がり、丈夫の勢いそのままだに、四十六名で二次会へ突入、時間切れの後、三次会、四次会・・・いつもは寂しい古町にも、少しはお金が落ちたようです。
「俺は十年後まで生きていないから、五年後に・・・」という声もあったのですが、とりあえず、また十年後の再会を約しました。
なお、今回のスナップ写真報告、など、77回生のホームページで公開予定で、青山同窓会のHPからリンクしてお入り下さい。

追記
六月二十二日に、77回生を代表して小林悟氏、斎藤繁夫氏が大滝学校長のもとを訪れ、四十周年で集められた十万円を寄贈されたことをご報告いたします。77回生の皆様、ありがとうございます。
(校内幹事 押木洋)



通信制コーナー

武蔵野の一隅より

田中 榮一 (通1回)



同窓会の皆様お元気でしょうか。お別れしてから、あつという間に三年が過ぎました。歳月の速さには驚くのみです。

そう言えば、自分が通信教育部(当時)を卒業させていただいたのが昭和三十四年(一九五九)ですから、今年でちょうど五十年を経たことを思い知りました。学恩の深さ、友情のありがたさをしみじみと思い返しております。

今年の正月、「喜寿を越え一期一会の年頭に立つ」と詠みました。それまで何気なく使っていた「一期一会」ということばの意味合いが重く迫るようになりました。それにしても、よくぞここまで生を与えられたものと思います。五年間も病床に臥

した身ですので、短命を覚悟していたものですから。その間、実に多くの方々から導かれ助けられて来たことを、感謝の念とともに改めてふり返っているこの頃であります。

最近、知人から「悠々自適のことでしょう」との文をいただきました。たしかに文字どおり「喜寿」であればよろしいのですが、現実にはかならずしもそうでないのが残念です。だいいち時間との競争があります。願望と思い込ませぬ身体とのもどかしい葛藤の毎日です。

加えて、最近のきびしい世相があります。私が住む地は、国木田独歩が、名作「武蔵野」で武蔵野の東のはずれと記している多摩川のほとりにあります。土手からは悠大な眺めが目に入りますが、それを河川敷に転ずると青いテントが目立ち近頃それが増えた気がします。ペットボトルや空きカンを山のように自転車に乗せて働いていたのがとも見かけなくなりました。こ

の人たちにも不況が襲っているようです。気持ちが暗くなりま

こんな状況の中、同じ年代に迷走をくり返した自分にとつてとりわけ気がかりなのは若い人たちのこれからです。私たちが通信教育で学んでいた頃は、猛

烈な学歴社会でしたが、何となくゆとりがあり先に光がありました。今は実力社会となり、しかも石川啄木が「時代閉塞の現

状」で訴えているような国家による圧力などもなく開放されているのですが、逆にその実力や

生活の格差観が微妙に若い人たちを追いつめ先を暗くし、閉塞感をもたらしているようにも思われます。

これからも、あれこれグチをつぶやきながら消光していくことでしょう。武蔵野の片隅より皆様のご健勝を祈念しながら。

第二十七回青山ゴルフ会
春季ゴルフコンペのご報告

入田 康夫 (96回)

第二十七回青山ゴルフ会春季ゴルフコンペが六月七日(日)に、新発田市の紫雲ゴルフクラブで行われました。

朝方には時折小雨が降る天候でありましたが、徐々に穏やか

な天候に恵まれ、新緑の優しい空気に囲まれた紫雲カントリーで、和気藹々の雰囲気の中で楽しいコンペでした。

今回参加者にはいつもおなじみの最年長49期の本田正胤先輩を筆頭に総勢四十一名の参加となりました。

最年少99期と年齢差五十歳の差を感じることなくはつとつとしたプレーが印象的でした。

個人部門では72期の北村誠作先輩がイン45アウト41の86で優勝。71期の熊倉哲先輩がイン42、アウト42のベスグロに輝き、とてもレベルの高い戦いでした。

結果は以下の通りです。



個人優勝 北村誠作(72期)
団体優勝71期、熊倉哲、関川正利、菅原宗人、中野久

コンペ後のパーティは、いつも恒例のクオリスビル信濃川で行われ、会が始まるや否や早くも団体優勝の71期、前回優勝の79期との間で、連覇を狙う71期中野先輩と79期吉田先輩との舌戦が開始されて

O B 会 報 告

青山バレーボールクラブ
第十六回総会の展望

青木 忠信 (83回)

ただきましたが、文字数の都合で載せられなかった内容を開催予定の第十六回総会の展望として紹介いたします。

挨拶・乾杯の後の懇親では、初参加者と久しぶり参加者の自己紹介を、長谷川信夫様(60回)・鈴木将夫様(69回)・和田薫様(71回)・坂井論君(101回)そ



今年の隔年に実施している青山バレーボールクラブ総会の年です。前回は平成十九年十月に、57回から109回まで三十名の参加で行いました。その様子は同窓会報第八十六号に述べさせてい

は万年青年の鈴木幸様(66回)と恒例の担当でした。長谷川同窓会長(61回)は今回もご多忙の中、駆けつけていただきました。

はないかと感じています。よって、総会の案内が届きましたら奮って参加いただき、今後の会話や、平成二十年の現役・OBの活躍等、歴史と伝統を受け継いできた当会の意義深さを

第十六回総会開催予告

日時：十月二十四日(土)

午後五時
場所：ANAクラウンプラザホテル新潟

(詳細は、後日ご連絡いたします)

す。なお、同窓会報を拝見しますと、他クラブでは現役との交流等のより活発な活動があるよう、今後の課題として総会開催の頻度及び場所、さらには総会以外の行事等を考えるべきで

最後にありますが、当クラブの運営にご尽力いただいた大槻修三様(64回)が、三月にご逝去されました。ここにご冥福をお祈り申し上げます。

剣道部OB会 平成二十年年度の活動報告

青山剣友会
事務局代表

町田 一越 (95回)

われしました。

総会 平成二十年八月九日(土) 午後五時からイタリア軒で開催されました。議事終了後の懇親会では青山同窓会から風間士郎副会長(64回)からもご参加いただき、和やかに楽しい時間を過ごすことができました。尚、午前中の合同稽古は、猛暑の中現役高校生及び会員総勢二十八名の参加で元氣溢れる稽古が行

新年会 一月二日、平成二十一年新年会が新潟市のイタリア軒にて開催されました。三十二名の会員が集い、和やかに新年をお祝いしました。100回以上卒の若手が十二名、女性会員から四名の参加もあり、新春らしい活気溢れる会となりました。村島滋会長(52回)の挨拶では、今

年の新潟国体開催にちなみ一巡目新潟国体での思い出話や、平成二十年の現役・OBの活躍等、歴史と伝統を受け継いできた当会の意義深さを



況報告では、現役の活躍に頼も

込めた丈夫を合唱した後、吉田至夫副会長(79回)による締め

日、七月十九日、八月九日、九月六日、十月十一日、十一月八日、十二月十三日、一月二日、二月七日、三月十四日に実施致しました。特に盛夏の八月九日は二十八名、新年一月二日は四十九名が参加し、活気が溢れる、充実した稽古となりました。

青山艇友会定時総会開催

渡辺 研二 (75回)

ボート部OB会は第三十二回定時総会を平成二十一年三月十四日、新潟市クオリスビルろ

艇友会長を議長として進行。活動はOBの範囲だけでなく母校ボート部の支援も行うことが確認されました。役員改選では、海外転勤や逝去の幹事は減りましたが、ほぼ留任状態で今後二年間の任期を務めます。

■出席者十七名 石田瑞穂(同窓会副会長)、原正雄(県ボート)

ト協会長)、西倉直樹(顧問)、高木創(同)、佐藤弘朗(同)、近藤圓(38回)、加藤高弘(58回)、佐藤勝弘(65回)、三原邦夫(70回)、渡辺研二(75回)、大井峰夫(76回)、水沼真一(78回)、増井隆夫(79回)、桜井優(80回)、佐藤正昭(80回)、神林正浩(89回)、荒井重信(96回)

■現役支援活動

▽特別活動 前期繰越の浄財に追加分を合わせて母校ボート部に寄贈し、男子用ダブルスカルを購入が実現。「青嵐」と命名され、平成二十年九月初旬、艇庫に納入されました。現役は中部高校選抜大会にこの新艇で出場し、活発に活動しています。

▽OB現役懇親会 平成二十年七月十三日に実施。艇庫近くの食事処で、昼食歓談。参加者は総勢三十名でした。現役の話やOBの昔話などで結構コミュニケーションがとれて有意義でした。



青山ソフトテニスクラブ紹介

和栗 暢生 (95回)

当クラブは新潟高校ソフトテニス部(旧称 軟式庭球部)のOB会です。高校卒業とともに自動的に会員となり、また当校卒業生でなくとも我がクラブに所縁のある方の入会希望が總會で承認されれば会員となります。希望退会は少なく、会員は約五百名の大所帯です。クラブの活動は、現役高校生

部員の支援とOB会の開催が二本柱です。現役支援としては、会費からボールや備品の援助、遠征費の援助を些少ではあります。がさせていたいております。我々も、またそのまた先輩方も現役時には、多くのOBに御支援いただきました。こうした御恩を、また次の世代への支援という形でつないでいけたらと思

います。そしてOB会は總會と懇親会を例年八月十四日に継続的に行っています。同日の日中には新潟高校のテニスコートをお借りして、現役部員とともに親善試合を行っており、非常に好評です。数年ぶり、いやそれ以上ラケットを握っていないOBも、コートに照りつける太陽のもと、汗をかきながら白球を追っています。自然と若かりし頃を思い出し、本気で悔しがったり喜んだり、それは楽しいテニス(プレー)しても観戦しても)となります。同じコートで相当な年齢差のOBと現役部員がともにプレーするのも本当に良いクラブと実感する場面です。

日々の活動としては、これまで三十年以上にわたり、シーズン(四月～十一月初めころ)中、五月二十三日(土)平成二十年



(平成 20 年 8 月 14 日の総会です)

日曜日に高校コートにおいて早朝練習を行っておりまして。最近では若い人たちの参加も増え、練習メンバーにも活気が出てまいりました。年に二回の市主催のチームマッチを含めた試合参加も張り合いの一つです。本年度から早朝練習ができなくなりましたが、現役部員の練習時間

青山バドミントンクラブ

高橋 裕之 (84回)

には、現役への指導を含めてテニスを楽しむことができますので、お時間の許す方は是非一度コートへ足を運んでみてください。先輩方から脈々と受け継がれてきた楽しいOB会です。今後楽しく集える会として継続していきたいものです。

五月二十三日(土)平成二十年

年度総会が、新潟東急インにて出席メンバー十二名で開催されました。

昨年度は、恒例の行事として「総会」、「OB現役合同のバーベキュー大会」そして「年末の集い」の他、「新年会」が開催されました。というのは、一月三日が土曜日ということで、普段出席できない人が参加できるのではないかとということで作画したわけです。実際、いつも

のメンバーに加え新しく大学生が三人出席して、フレッシュな話題でにぎやかに会食をすることができました。

ところで、今総会の主な議題は三つありました。一つ目が、バーベキュー大会の日程です。昨年は十月下旬で風の強い小雨

のTシャツを製作したものですから、これに着たいという気持ちもあります。二つ目が現役生へのシャトルの寄付についてです。今までは試合球を三十ダース寄付していたのですが、ある会員から、寄付するのなら質より量じゃないの?という意見が出され、検討した結果、練習球にして数量を多くしようということになりました。(練習球といつてもそんなに悪くはないのですが)ちなみに五十ダース贈呈することになりました。



三つ目が、どのOB会でも悩みの種である、若い会員や今まで行事に参加したことのない会員がいかに行事に参加するか?ということ。今回は、丁度幹事の選任の年にあたりましたので、新しい若手の幹事が二名加わることにしました。この人たちを中心に、今までの考えと違った会の運営が出来ればよいなどと考えています。最後に今年はおきめ新潟国体が開催されますが、このOB会から新潟県や新潟市の協会長や役員を輩出している関係で、国体の運営に大きく関わっていることを皆認識し、青山バドミントンクラブ全体で後押ししようと思

平成二十一年度 青山野球倶楽部総会 兼 新入会員歓迎会

事務局 白井 行雄(79回)

三月二十四日(火) 十八時三十分より、恒例の総会兼新入会員歓迎会が、新潟駅前クオリスビル五階『信濃川』で開催されました。参加者は、高校側の倉繁正志監督、佐久間俊部長、斎藤剛先生とOB会員十四名、新入会員十一名の総勢二十八名でした。湯浅会長からは「テレビ放映されたWBCの全試合を見ましたが、一球で局面が変わる『野球の怖さ』と、『野球の素晴らしさ』を改めて確信しました。新入会員の皆さんには、県内最難関校である新潟高校に入學し、更に皆で一つの目標に向かって野球を三年間続けてこられたことに敬意を表します。これからも野球の持つ意味を活かしてください。今後は青山野球倶楽部の会員として、仲良く会の運営に協力してください。」という挨拶の後、平成二十年度の活動が報告されました。第四十四回青山野球倶楽部ゴルフコンペは向井勉氏(94回)、第四十五回は吉井浩(85回)の優勝に終わったこと、八月十五日



の第三十二回青山葦原定期戦(硬式野球)は降雨のため中止となったが、ホンマ健康ランドで行なわれた懇親会が盛大に行われたこと、第三十三回県高校野球OB大会の二回戦進出等でした。

月十五日(土)に第三十三回青山葦原定期戦を小針球場で実施することとしました。硬式ボールを握ってプレーのできるこの両大会に、多くの会員が出席しますよう、よろしく願います。と思います。その他、七月四日(土)に第四十六回青山野球倶楽部ゴルフコンペ(フーブルウッドGC)、十月三十一日(土)に第四十七回(日本海CC)を計画しました。また、昨年亡くなられた片桐武昭先輩(55回)、小黒昌一先輩(62回)のご遺族から、青山野球倶楽部に多額のご寄付をいただいたことの報告がありました。ご遺志に沿うよう有効に活用させていただきま

す。この場を借りまして改めて御礼申しあげます。倉繁監督が新発田南高校に転勤されることになりましたので、ご挨拶をいただきま

した。今後の益々のご活躍をお祈りしたいと思います。

会則にある『会員相互の親睦を図る』ばかりではなく、『母校新潟高校野球部の強化・発展を計る』事業として、七月六日(月)十七時三十分から夏の大会を目前にひかえた現役選手の激励会を計画しました。平成二十一年度予算案では、母校助

青山墨友会

会長 吉田 丈夫(112回)



成費十万円、支援基金六十五万円とし、昨夏に寄贈した百万円のピッチングマシンの完済に当てることを決議し、悲願の甲子園出場を支援していくこととしました。春季県大会ではベスト8に進出していますので、夏の大会を大いに期待したいと思います。

新入会員歓迎会では、先輩会員全員から新入会員に励ましの言葉が送られ、千野遼平主将をはじめとする新会員からは、「現役時代に受けた先輩方の物心両面の支援に感謝いたします。これから青山野球倶楽部と現役選手を支えたいと思います。」という謝辞と決意が述べられ、最後に全員で「丈夫」を歌い、散会しました。

平成十六(二〇〇四)年三月、私は112回生として新潟高校を卒業しました。

青陵祭、青山祭、そして墨の香りに親しみながら過ごした書道部の日々に残惜しさを抱えつつ、進学、浪人、それぞれ

の進路に向けて思いを新たにしていたことを思い出します。書道部で東の間の三年間を過ごした仲間とのつながりを、一生の財産にしたい。このような願いから、「青山墨友会」は発足しました。

まずは現役部員たちの近況について。昨今の書道部は、紙に向かつて心静かに書作するという伝統的な表現方法に加えて、パフォーマンスの要素も含めた多様な表現方法も実践しております。昨年の初春には、NEXT21にてロビーいっぱい

の『学規』がプリントされた作務衣がユニフォームとして新調されました。

現役部員のこのような活躍を温かく見守りつつ、墨友会員と現役との交流もはかられております。夏の合宿や青山祭では、新潟大学教育学部書道科に進学したOB・OGをはじめ新潟在住の墨友会員は学校を訪ねてい

籍した先輩がいっぱいいたらしやいまして、ぜひお知らせ頂きたいと思えます。

吉田丈夫

090-2760-7149
yoshidatakeowl5@gmail.com

同窓生の本

「新・新潟レシピ
もっとうれしい
いただきます」

ふうどスタイリスト
小島富美子 (75 回)

時の流れは早く、自分でも耳慣れない職について三十年程になります。様々なクライアントさんからの要望に添って考えた料理作品は数千点程、レシピは二万点近くになります。まさに、その仕事の中で育ててもらった感があります。販売手段ですら新しい需要に向けて次々と創られ消えてゆく宿命でした。

この度、撮り下ろしも加えて本にして頂き、本当に驚き感激しています。どの



〇二五・二三三・二二〇〇

県内各書店、全国チェーン書店で販売中、問い合わせは、新潟日報事業社

作品も多くの現場スタッフの方々と工夫してできたものです。皆様が出版を応援して下さいました。国内さらに世界に向けて伸びている方々です。母から子、子から孫へ無言のうちに食はつなぐります。日々の当たり前の営みがより楽しくなるよう願って仕事をしてみました。それぞれの家のそれぞれの味や食卓風景こそが宝物と

思っているからです。本の構成は神原誠氏 (80 回)、印刷は堀一氏 (75 回)、アシストは小島秀樹 (105 回) と、チーム「青山」の本でもあります。一度、お手に取られてみて下さいば幸いです。

砂山さん (117 回) 紅綬褒章受章

今春卒業した砂山諒さん (117 回) が、昨年十一月末に信濃川でおぼれていた七十代の女性を救助したことで、春の褒章で紅綬褒章を受章しました。なお、今年の褒章では全国最年少の受章でした。

現役の活躍

新潟県理科連合 アメリカ研修報告

理数科 堀越 康弘 (97 回)

本研修は、世界に目を開いた生徒の育成、新潟県を学習面でもリードする集団の形成を趣旨として今年度初めて行われた。対象は、本県の理数科設置校において選抜された生徒で、本校からも半数以上の二十三名の生徒が参加した。内容は、単なる語学研修にとどまらず、現地高校訪問、ハーバードや MIT のキャンパスツアー、企業見学など充実したものであった。

参加者は、平成二十一年三月二十二日～四月一日の十一日間の研



新潟県 英語スピーチコンテスト

英語科 阿部 雅也 (101 回)

昨年十月、県主催英語スピーチコンテストで次の三名が上位入賞を果たしました。

新潟県二位 堀 孝哉 (現二年生)
三位 工藤優衣 (現二年生)
五位 高田俊亮 (現二年生)

うち二名が三月二十四日から一週間、アメリカ研修に派遣されました。以下は派遣された生徒の感想です。

「英語はコミュニケーションをするためのものであり、生きているものなんだなあと感じた。話そうとする意欲があれば何とか通じる。きまりきった一文という化石のようなものではなくて、ひとつの単語でも十分に動き回れるものだった。日ごろの授業を大切にしたい。」



堀 孝哉さん



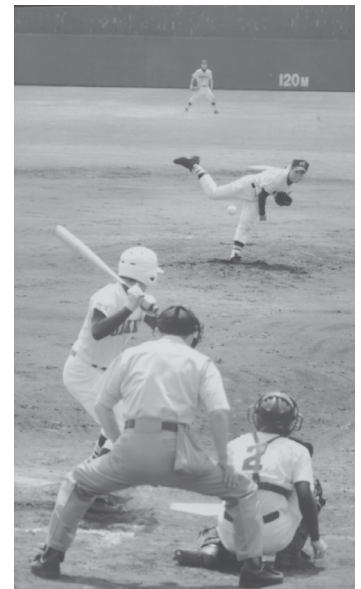
高田 俊亮さん



工藤 優衣さん

平成 21 年度 新潟県高等学校総合体育大会等 結果報告書

陸上競技	男子 400m 8位 岩橋直紀 110mH 2位 清水 嶺 走高跳 2位 岡部大輝	
男子バレーボール	2回戦敗退	
女子バレーボール	2回戦敗退	
男子バスケットボール	ベスト16	
女子バスケットボール	2回戦敗退	
ソフトテニス男子	個人 曾我圭佑・小林亮太ペア (ベスト16) 北信越大会出場 団体 3回戦進出 (ベスト16)	
ソフトテニス女子	個人 3回戦敗退 団体 3回戦進出 (ベスト16)	
卓球	男子団体 2回戦敗退 女子団体 1回戦敗退 ダブルス男子 3回戦進出 個人男子 1回戦敗退 個人女子 ベスト32	
バドミントン男子	団体4回戦進出 (ベスト16)	
バドミントン女子	団体4回戦進出 (ベスト16)	
サッカー	1回戦敗退	
ラグビー	2回戦敗退	
柔道	女子団体 予選リーグ3位 男子団体 予選リーグ2位 女子個人48kg級 3位 長谷川琴美 北信越大会出場 女子個人70kg級 1回戦敗退 男子個人73kg級 2回戦敗退	
剣道	女子個人戦 4回戦進出 男子団体戦予選リーグ敗退 女子団体戦予選リーグ敗退	
山岳	男子団体 優秀校	
男子テニス	団体戦ベスト16 個人戦シングルス ベスト32	
女子テニス	団体戦ベスト8 (佐久間菜月、梶原惟央璃、小林芽衣、近藤真央、川崎里恵) 個人戦シングルス ベスト32	
フェンシング	男子学校対抗 2位 北信越大会出場 男子フルーレ個人 3位 牛木信行 北信越大会出場 男子エペ個人 4位 五十嵐千寛 5位 北条雄暉 6位 藤田祥 男子サーブル個人 4位 渡辺宗一朗 5位 坪野諒介 6位 斎藤憲介 女子学校対抗 優勝 インターハイ出場 女子フルーレ個人 優勝 宮川香奈恵 インターハイ出場 2位 梨本友美 インターハイ出場 3位 菅原美穂 北信越大会出場 5位 中田早香 6位 廣川風薫 女子エペ個人 優勝 宮川香奈恵 インターハイ出場 2位 中田早香 北信越大会出場 3位 廣川風薫 女子サーブル個人 2位 梨本友美 北信越大会出場	
ボート	男子シングルスカル 5位 中川貴斐 男子シングルスカル 6位 内山敬仁 男子ダブルスカル 2位 勝木将人・長谷川寛哉 男子ダブルスカル 5位 紫竹貴司・木村吉孝 男子クォドルプル 4位 桜井悠平・今田芳宏・渡辺芳・小川昂寛・清野創介 女子シングルスカル 2位 山本美優 女子ダブルスカル 3位 山路菜・五十嵐彩理	
空手道	男子団体形 1回戦敗退 男子団体組手 1回戦敗退 女子団体形 1回戦敗退 女子団体組手 2回戦敗退 男子個人形 1回戦敗退 女子個人形 1回戦敗退 女子個人組手 1回戦敗退	
野球	春季県大会 ベスト8	
弓道	団体男子 8位 個人男子 山賀遼太郎 決勝進出 春季県大会 男子団体 優勝 全国大会出場 男子個人 Bブロック 2位 堀 亜洲	
囲碁		



大学入試結果

進路指導主事 加藤 幹男

三月十七日、全日制課程三百五十四名の生徒が無事卒業していききました。卒業式当日は天候に恵まれ、長谷川会長の前で応援団長本多俊介君が元氣良く宣誓し、卒業生が同窓会に入会しました。

さて、今年は新課程入試の四年目になります。一月に実施された大学入試センター試験は昨年度易化した反動で難化し、総合平均点もダウンしました。そういうった中で新潟高校生は健闘し、次に挙げるような立派な成績を残しました。

進学率は昨年度より1.1%アップし76.0%となりました。浪人する生徒は百名を大きく割り込み、八十一人になりました。この卒業生は九クラス三百六十人体制でしたので、一概に比較できませんが、十クラス四百名規模である二〇〇〇年の卒業生が進学率52.6%、浪人生百九十八人から考えると隔世の感があります。

① 昨年に比べ一クラス減の三百六十人体制ながら、国公立大合格者は二百名を超え、進学率も70%を超えました。

② 東京大の合格数が再び十人に達しました。

③ 医学部医学科への進学が国公立大(十六人)、私立大(四人)合わせて二十人に達しました。

① については、学年団が一致団結して生徒指導・学習指導に当たり、生徒がこれに応え、しっかり学習し受験した結果と思わ

れます。さらに、この学年は私立文系コース(三年次で数学・理科を選択しない)希望者がいなく、全員が最後まで五教科を学習したことも大きな理由のひとつです。

員が10%程度増やされことや地元新潟大学でも地域枠入試を実施するなどして、難化傾向は若干緩和しました。ここ四年間の新潟高校の国公立大医学科の現役合格数は15↓13↓10↓16となり定員増や地域枠入試が本校生

徒にはうまく機能したようです。それでも医学科志願者は合計で五十三人いましたので、私立大を含めた進学者数二十人を除いた三十三人が浪人することになりました。

〈その他〉
新三年生は学級数こそ変わらなものの、理数科が二クラスとなり、普通科七、理数科二という構成になっています。そして高校入試は昨年から全県一学区となり、新潟県全域から受験できるようになりました。最後にいかなる時代、いかなる生徒であろうとも学年団及び各教科と連携し、生徒の持てる力を最大限に伸ばす進路指導をしていきたいと思います。

主な大学の現役合格者数 (延べ数)

国公立大				
年度	06	07	08	09
卒業生総数	400	388	391	354
北海道	15	15	10	9
東北	24	22	28	24
秋田	4	3	1	
山形	3		2	2
筑波	13	5	4	7
埼玉	4	4	1	1
千葉	13	8	7	10
東京	9	10	6	10
東京外	3	1	5	3
東京芸		1		
東京学	9	2	8	6
東京工	2	4	3	2
東京農	1	1	3	1
お茶女	6	2		5
電気通			1	2
一橋	3	1	2	3
横浜国	8	7	4	9
新潟	73	69	84	65
富山	1	2	3	2
金沢	7	5	9	7
信州	3		1	3
名古屋	1	1		1
京都	5	6	4	3
大阪	2	5	1	3
神戸	1	3	1	2
九州	1	1		
首都東	3	4	4	3
横浜市	1	2	2	2
新潟県				7
その他	18	22	19	15
合計	233	206	213	207

私立大				
年度	06	07	08	09
卒業生総数	400	388	391	354
早稲田	41	32	34	40
慶応	18	10	15	13
中央	36	30	36	33
明治	35	36	48	36
立教	20	22	23	28
法政	21	17	29	31
日本	6	7	15	19
上智	5	5	5	8
青山学	9	12	12	12
学習院	7	4	6	2
北里	6	4	5	11
国学院	4	6	2	5
ICU	2		4	3
駒沢	9	1	3	3
成蹊	4	2	2	5
成城	3	4	4	
専修	9	2	3	10
津田塾	11	6	3	10
東京農	5	5	12	4
東京理	21	20	27	20
東京薬	3	4	1	
東京女	6	10	5	7
東邦	3	1	2	1
日本女	4	9	2	4
明治学	6	7	8	4
新潟薬	17	15	5	6
同志社	6	4	4	2
立命館	12	9	9	7
関西学	2	6	6	1
その他	113	72	87	49
合計	444	362	417	374

平成 20 年度 青山同窓会会費納入者

(H20.10.1 ~ H21.3.31 まで納入のもの)

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。

“1 口 1,000 円。なるべく 2 口以上をお願いします。”

振込先：郵便振替口座

全日制 00650-7-4455 青山同窓会

通信制 00530-1-74207

青山通教部会

全日制
41回S 9年
洪 野 玄 彰
43回S 11年
森 田 五 郎
45回S 13年
石 原 八十秋
48回S 16年
杉 山 静 也
49回S 17年
梶 山 勝 清
佐 藤 博
外 山 芳 夫
中 村 廣 徳
舟 崎 裕二郎
53回S 20年
大 滝 侃 市
渋谷 興 司
野 瀬 寛 次
広 野 究
山 崎 典 夫
54回S 21年
寺 崎 哲 夫
55回S 22年
千 葉 繁 治
56回S 23年
遠 藤 芳 幸
古 寺 嘉 夫
高 見 久 義
田 中 陽 一
堀 藤四郎
三 崎 正 一
58回S 25年
種 村 祥 一
59回S 26年
江 口 昌 男
神 田 悌 三
山 吉 一 成
60回S 27年
石 川 紀一郎
高 橋 篤 生
田 部 幸 夫
宗 村 健 吾

矢 川 和 偉
山 崎 良 一
61回S 28年
助 川 孝 雄
田 中 宣
丸 山 通 夫
渡 辺 和 義
62回S 29年
池 田 昌 之
中 島 寛
永 井 梓
丹 羽 仁
村 山 悦 朗
渡 辺 貢 英
63回S 30年
金 川 博
中 村 輝 一
二階堂 修
萩 野 一 英
羽 入 義 郎
平 野 恒 夫
64回S 31年
池 浦 慶 次
片 桐 彰 子
斉 藤 邦 男
佐 藤 茂 司
西 野 貢 司
早 川 周 作
65回S 32年
河 路 明 夫
高 木 正 道
66回S 33年
福 山 忠 利
67回S 34年
石 井 幹 男
北 川 寛
堂垣内 弘 一
本 間 寛
丸 山 鉄 弥
渡 部 康
68回S 35年
磯 辺 潔
岡 村 光 郎

須 磨 美 博
広 川 忠 夫
増 子 藤 男
69回S 36年
青 木 利 祐
小 林 昌 二
白 川 英二郎
鈴 木 晴 夫
高 杉 昭 二
高 辻 洋
高 山 勝
田 巻 靖 雄
玉 木 清
栃 倉 浩
永 井 晴 美
廣 瀬 淳 之
70回S 37年
小 川 弘 良
加 藤 邦 紘
戸 田 礼 子
71回S 38年
佐 藤 正 之
渋谷 良 二
早 川 時 雄
平 野 晴 夫
丸 山 紀 子
渡 辺 赫 子
72回S 39年
阿 部 道 行
渋谷 保 之
菅 又 滋
高 橋 悦 子
73回S 40年
上 野 秀 夫
大 沢 義 弘
片 桐 利 雄
中 原 和 之
樋 熊 節 子
74回S 41年
五十嵐 由 之
伊 藤 幸 司
大 島 義 宣
風 間 悦 男

風 間 雄 一
古川原 芳 明
笹 川 雅 之
関 川 修 一
松 田 博 人
75回S 42年
伊 藤 哲 夫
上 田 茂
木 村 陽 子
小 山 隆
佐々木 珠 夫
佐 野 康 子
曾 我 正 男
吉 川 恵 次
76回S 43年
加 澤 正 樹
川 上 陽 子
斎 藤 栄 路
長 北 学
77回S 44年
猪 股 律 子
清 水 道 雄
曾 我 恒 有
生 野 勝
樋 口 清 博
渡 辺 隆
78回S 45年
木 村 和 夫
水 野 秀 樹
山 口 英
79回S 46年
佐 藤 俊 夫
高 橋 正 良
林 睦
本 間 義 康
横 川 憲 司
80回S 47年
佐 藤 正 昭
81回S 48年
五十嵐 公
片 桐 裕 則
82回S 49年
島 倉 晶 子
目 黒 茂 樹
渡 辺 宣 昭
83回S 50年
相 田 八 郎
浅 間 芳 朗
河 原 貢 司
鈴 木 時 男
中 戸 雅 博
中 山 直 美
西 田 博 子
丸 田 拓 雄

村 尾 弘 子
84回S 51年
岡 田 憲 明
加 藤 雅 一
85回S 52年
白 井 晃
庭 野 芳 樹
86回S 53年
高 橋 俊 吾
丸 山 徹
87回S 54年
大 西 千 尋
宮 田 佳 則
88回S 55年
草 間 博 子
小 池 真 理
常 木 郁之輔
坪 井 望
長谷川 章 子
宗 村 信 明
89回S 56年
川 嶋 薫
90回S 57年
池 元太郎
佐 藤 雄一郎
樋 口 正 史
渡 辺 栄
91回S 58年
大 津 俊 哉
梶 谷 敬 子
100回H 4年
加 藤 貴 之
101回H 5年
小 林 あかね
105回H 9年
遠 藤 真 理
107回H 11年
真 柄 望
111回H 15年
三 浦 千 晶
114回H 18年
山 川 里 美
116回H 20年
山 田 貴 央
通信制
3回S 36年
川 端 欽 吾
5回S 38年
菅 原 カ ッ
星 野 リ エ
8回S 41年
新 井 シ ン
八木野 初 枝

9回S 42年
木 津 誠一郎
10回S 43年
伊 藤 洋 子
藤 田 隆 一
12回S 45年
岡 村 清
川 崎 隆 子
斉 藤 平三郎
吉 野 久美子
13回S 46年
青 山 邦 子
本 保 勝 晴
16回S 49年
小 川 栄
古 川 と み
20回S 53年
伊 花 義 一
22回S 55年
松 原 俊 昭
23回S 56年
岡 部 徹
25回S 58年
田 代 悦 子
26回S 59年
南 雲 トミイ
29回S 62年
小 野 道 子
竹 内 正 朋
丸 山 耕 藏
渡 辺 美恵子
30回S 63年
長 濱 隆 道
32回H 2年
伝 川 里 子
37回H 7年
小 熊 陽 子
38回H 8年
柿 崎 フミ子
渡 辺 ともこ
39回H 9年
国 井 正 則
庭 山 正 憲
40回H 10年
飯 島 イ ッ
44回H 14年
石 原 マサ子

